

拠出金・基金
の名称

国連人道問題調整事務所拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連人道問題調整事務所(UNOCHA)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局緊急・人道支援課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

人道支援活動の調整業務の強化

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	631,869	5,744	—	1米ドル=110円	100
平成28年度	731,397	6,095	—	1米ドル=120円	100
平成27年度	965,369	8,776	—	1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国は、国連等野各種人道支援機関を通じた人道支援外交を重視している。国際機関やNGOなど様々な主体が活動する人道支援の現場において、効率的・効果的な活動を行う上で、OCHAによるニーズの把握及び調整機能は重要な役割を果たしている。OCHAは、国連の人道支援改革を着実に実施しており、国際社会における人道支援初期対応の強化、分野別調整システム構築等の取組は高く評価されている。このような取組を支援することは、人道支援に対する我が国の積極的な姿勢を示すのみならず、我が国自身の緊急人道支援の効率化にもつながる。

2017年には、43か国で発生した災害に対し、OCHA内部の緊急対応メカニズムやドナーの協力を得て、計242人の支援調整担当者を迅速に派遣した。また、38の統一アピールを発表し、約236億ドルの支援を要請、内60.2%にあたる約142億ドルが各ドナー国・支援機関から拠出される成果をあげた。これらのOCHAの調整により、世界中で約7,000万人が裨益した。

OCHAはまた、国連事務総長の呼びかけで2016年5月に開催された世界人道サミットの事務局として、議長総括やコミットメント等の成果文書の取りまとめで中心的役割を果たした。今後、同サミットのフォローアップ等において我が国の意見を適切に反映させていく上でも、OCHAへの拠出を通じた影響力の強化が不可欠。

【備考】